解　説

第 ９ 章 運輸・通信

鉄道の乗車人員数

主要各社とも２桁の減少

鉄道主要各社によると、令和２年の府内の駅の乗車人員数(１日平均)は、地下鉄(ニュートラム含む)は210万5,977 人(前年比45万7,980人、17.9％減)、JR西日本は162万5,528 人(前年度比55万4,138人、25.4％減)、阪急電鉄は97万1,244 人(前年比17万2,700人、15.1％減)、南海電鉄は48万6,685人(同18万5,960人、27.6％減)、京阪電鉄は42万4,560人(同9万5,259人、18.3％減)、阪神電鉄は16万2,431人(同3万4,510人、17.5％減)です。



主な鉄道会社の乗車人員数(府内駅・１日平均)

[第9章1～3表より]

※近畿日本鉄道の乗車人員数調査は、平成25、26、28、29、31・令和元、２年は行われていません。

※凡例横の数字は府内の駅の数です。

自動車保有車両数

354万台でほぼ横ばい、車種別では乗用車のみ微減

一般財団法人自動車検査登録情報協会によると、令和２年度の府内の自動車保有車両総数は354万4,435台(前年度比1万3,953台、0.4％増)です。このうち、乗用車は195万5,134台(同2,703台、0.1％減)、軽自動車は107万1,503台(同10,512台、1.0％増)、貨物用車(トラック等)は33万3,199 台(同2,344台、0.7％増)で、乗用車のみ微かながら減少しました。



自動車保有車両数

空港旅客数

[第9章15表より]

全線とも大幅減少

関西エアポート株式会社によると、令和２年の関西国際空港の旅客数は、国際線は348万5千人で前年に比べ2,134万1千人(86.0％)、国内線は304万9千人で前年に比べ393万3千人(56.3％)、それぞれ減少しました。

大阪国際空港の国内線の旅客数は767万2千人で、前年に比べ883万2千人(53.5％)減少しました。



空港旅客数

[第9章21表より]

情報通信機器保有率

タブレット型端末のみ減少

通信利用動向調査によると、令和２年の情報通信機器の世帯保有率は、モバイル端末(携帯電話、PHS及びスマートフォン)は97.3％(前年比2.0ポイント増)、スマートフォンは87.8％(同3.3ポイント増)、パソコンは71.2％(同1.5ポイント増)、固定電話は68.4％(同1.2ポイント増)、タブレット型端末は31.8％(同7.9ポイント減)です。



情報通信機器の世帯保有率

[第9章28表より]